

事業所名

こどもサポート教室「きらり」白金高輪校

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

18 日

法人（事業所）理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。							
支援方針		私たちは「その子」をしっかり見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。							
営業時間		10 時	00 分	から	19 時	00 分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・本児の身体に関するアセスメントをしっかりと把握し、本児の活動中の表情や様子を常に観察して、その日の気分や健康状態の発信を促します。 ・基本的な生活スキル(挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方)を獲得できるようにサポートします。 ・事業所内外での安全な過ごし方について、わかりやすい視覚効果などを適宜活用しながら理解を促します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に使うはさみ・のり・箸・スプーン等の道具に触れ、手先の運動と共に、使い方や危険性なども認識できるようルールの提示も行います。 ・本児の感覚の特性や偏りを踏まえながら、五感に訴える活動や、本児の感覚刺激を満たすような活動を行います。 ・微細運動や粗大運動を通して、身体の使い方が向上するように支援します。 ・目で見て指先を動かす目と手の協調を促し、無理なくできるところから運筆や書字に取り組み、本児のできることが増えるようにサポートします。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を見極めながら、遊びを通して本児の興味の幅を広げ、指導員がサポートしながら全体の成長を促します。 ・本児の認知の特性について一緒に理解を深めながら、本児の認知の偏りへの気づきや適切な対応に結び付けていけるよう支援します。 ・本児の感覚を十分働かせながら、ものの形や色、大きさ、数などに触れて、本児の理解できることが増えていくように支援します。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員と言葉やものを通してやり取りをすることで、他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。 ・本児が自分の気持ちを言葉や身体で表出し、自分の気持ちをコントロールできるよう促していきます。 ・本児の発達に合わせて、本児の言葉の理解や表出が豊かになるように支援します。 ・本児の発達に合わせて、本児の文字を読む力や書く力が向上するように支援します。 ・場や状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう、その都度声がけをしたり、やり取りの中で想起しながら確認したり、場面をイメージできるような教材を使用したりしながら支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・本児が苦手なことや初めてのことに挑戦する気持ちを尊重し、「成功体験」と「失敗体験」の双方を経験することで、本児の自信につながるよう支援します。 ・本児ができたところを認めて、本児の経験が増えていくことで、本児の自己肯定感が少しでも高まるように支援します。 ・教材などを使って指導員と楽しく遊ぶことを通して、順番やルール、約束を守ることや、物を大切に扱うことなどの社会性が育つように支援します。 ・指導員と良好な関係性を築く経験を基にして、他児や集団の中でも関係性を作っていくように支援します。 							
家族支援		事業所スタッフは直接的支援を、本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップします。発達のプロとしての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者には実際の支援場面を観察または参加していただいた上で、本児の特性や、特性を踏まえた関わり方等に関して相談援助を行います。			移行支援		登園する園や移行する機関と具体的な対応を話し合うなどして、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。関係機関とは必要に応じて個別支援計画に基づいた具体的な活動内容の情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。		
地域支援・地域連携		地域の方からの信頼を得られるように、支援の質を向上させるように努力します。地域とつながりを持ち、情報共有や連携に努めます。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での本児との関わり方の提案や、関わり方のポイントについて助言を行います。			職員の質の向上		法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。		
主な行事等		特に無し。問い合わせがあれば、随時、1時間の無料体験を実施します。							